

旧制高等学校OB杯 北信越大学サッカーリーグ
第47回（2019年度）1部リーグ実施要項

1 目的

このリーグは、北信越地域の大学が北信越地域の覇者たることと、全日本大学サッカー選手権大会に北信越代表として出場する榮譽を競うとともに、競技を通じ体力と人格の向上を期し、併せてサッカー競技の普及発展に寄与することを目的とする。

2 主催

一般社団法人 北信越サッカー協会 北信越大学サッカー連盟

3 主管

一般社団法人 新潟県サッカー協会
公益社団法人 富山県サッカー協会
一般社団法人 石川県サッカー協会
一般社団法人 福井県サッカー協会
一般社団法人 長野県サッカー協会
各県大学（学生）サッカー連盟

4 後援

坂井市教育委員会

5 開催期間

2019年4月～2019年11月

6 競技規定

本年度の公益財団法人 日本サッカー協会競技規則による。

7 参加資格

(1) チーム

- ①本年度に公益財団法人 日本サッカー協会並びに一般社団法人 全日本大学サッカー連盟に登録され、登録費を納入した単独の大学の学生を以て構成されているチームであること。
- ②全日本大学サッカー選手権大会まで試合を続けられる運営体制を備えているチームであること。
- ③選手は30名まで登録することができる。外国籍選手は1チームあたり5名までとする。

(2) 選手

- ①本年度、当該チームの所属選手として、公益財団法人 日本サッカー協会並びに一般社団法人 全日本大学サッカー連盟に登録され、登録費を納入済みである者。当該大学の学生であったとしても、北信越フットボールリーグや各県社会人リーグ等、他のチームの選手として登録されている者は、移籍手続きが完了するまで、本リーグに出場することはできない。
- ②リーグ期間中に社会人チームに移籍した選手は、本年度中1回に限り、当該チームに復帰することを認める。
- ③試合出場にあたっては、公益財団法人日本サッカー協会電子登録証選手証の確認ができればならない。
- ④出場資格について疑義がある場合は、北信越大学サッカー連盟で審議する。

(3) 監督

- ①本年度において、当該チームの監督として、公益財団法人 日本サッカー協会に登録された者であること。
- ②原則、指導者ライセンスC級以上を有すること。
- ③なお、本リーグの監督は北信越フットボールリーグ及び各県社会人リーグ等、他チーム監督を兼ねることはできない。
- ④やむを得ず大会期間中に、監督が交代する場合は、北信越大学サッカー連盟の了承を得るものとする。

(4) 帯同審判

- ①参加チームは、3級以上の審判員3名以上（延べ数）を帯同審判員として登録しなければならない。確保は8月末日までに行わなければならない。
- ②帯同審判員は、当該大学（大学院を含む）の学籍を持つ者でなければならない。ただし、帯同審判員は当該大学のサッカー部員である必要はない。
- ③帯同審判を準備できなかったチームは、次年度2部リーグに自動降格する。

8 試合形式

(1) リーグ形式

リーグは、8チームによる前期リーグと後期リーグの2回戦総当たりを実施する。

(2) 順位の決定方式

順位は、勝ち点の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。勝点合計が同じ場合は、以下の順位により決定する。

- ①リーグ戦でのゴールディファレンス（得点－失点）
- ②リーグ戦での総得点
- ③当該チームの対戦成績の勝利数
- ④フェアプレーポイント
- ⑤前年度リーグ順位

(3) 最終順位の確定

最終順位は、前期リーグと後期リーグの結果を総合して決定するものとする。

(4) 2部降格

1部リーグにおいて8位となったチームは、次年度2部リーグに降格する。

1部6位チームは2部3位チームと入替戦を行い、勝利チームは次年度1部リーグ所属とする。90分で勝敗が決しない場合は同点となり、1部6位は1部リーグ残留とする。

1部7位チームは2部2位チームと入替戦を行い、勝利チームは次年度1部リーグ所属とする。90分で勝敗が決しない場合は延長戦を行わずペナルティ・キック方式により勝利チームを決定する。

ただし、1部チームの中に帯同審判員の確保ができなかった等の事情が生じた場合、入替戦を実施しないこともある。

9 試合方法

試合の競技規則は本年度の公益財団法人 日本サッカー協会の競技規則による。

(1) リーグの試合時間

前半45分、後半45分の計90分で行われる。決着がつかない場合は引分けとする。

(2) 入替戦の試合時間

入替戦は1部チームをホームとし、前半45分、後半45分の計90分で行われる。

1部7位と2部2位の入替戦は、決着がつかない場合、ペナルティ・キック方式により勝者を決定する。

1部6位と2部3位の入替戦は、決着がつかない場合は、同点とする。

(3) エントリー選手

リーグ、入替戦を問わず、1試合のエントリー選手は20名までとする。交代に関しては、登録した交代要員から5名まで交代できる。

(4) ベンチ入りできる役員

リーグ、入替戦を問わず、ベンチ入りできる役員は5名までとする。

(5) ベンチ入りする者の服装

リーグ、入替戦を問わず、ベンチ入りする役員・選手はピッチ内の選手・審判と区別できる服装をしなければならない。

10 懲罰

(1) 出場停止

本リーグで主審により退席・退場を命じられた者は、当該試合以降に行われる公式戦（本リーグを含む）に、最低1試合出場することはできない（繰り返した場合は最低2試合）。出場停止及び追加の処分等については、北信越大学サッカー連盟規律・フェアプレー委員会が審議、決定する。

なお、選手・監督等が出場停止処分を受けた場合、フィールドのほか、ベンチ・ロッカールーム等の区域（ADカード等の入場証が使用される場合、そのカード等によって立ち入りが制限される区域）に立ち入ることはできない。

(2) 累積警告

本リーグにおける警告回数が累積3回となった選手は、本リーグ（プレーオフ、入替戦を含む）の次の1試合に出場することができない。警告累積が再度3回となった選手は、次の2試合に出場することはできない。なお、同一試合で2回の警告を受けて退場となった場合には、その2回の警告は累積警告数に加算しない。

また、北信越大学サッカー連盟規律・フェアプレー委員会による出場停止処分と、累積警告による出場停止処分が重なった場合は、規律・フェアプレー委員会による出場停止処분을優先する。

1.1 表彰

(1) チーム表彰

優勝チームには、旧制高等学校OB杯と賞状を授与する。次勝、第三位のチームにはそれぞれ賞状を授与する

(2) 選手表彰

最優秀選手、得点王、アシスト王を決定し、これを表彰する。また技術委員会はリーグで秀でたプレーをみせた11名を選出し、ベストイレブンとして表彰する。

(3) フェアプレー賞

フェアプレーポイントが最も良かったチームに対し、フェアプレー賞を授与する。フェアプレーポイントの算出方法は、北信越社会人リーグの規定に準拠するものとする。

なお、フェアプレー賞の授与に関しては試合数を考慮するものとする。

1.2 全日本大学サッカー選手権大会への出場

優勝チームは、全日本大学サッカー選手権大会に出場する権利と義務を有する。出場枠が2校の場合、次勝チームを全日本大学サッカー選手権大会に出場する第2代表とする。

1.3 初回登録方法

(1) 4月8日(月)までに『2019Entry_Seat(大学名)』にチーム情報入力シート及び選手登録シートに必要事項を入力して、リーグ事務局(hokushinetsu-dsl@googlegroups.com)へメールにて送信する。

なお、初回登録選手の背番号は、原則1番から30番とし、追加選手がいる場合でも50番までとする。(初回登録にGKが複数人いる場合は、31～50番でも許可する。)

(2) 集合写真データ及び個人写真データも同様に、リーグ事務局(hokushinetsu-dsl@googlegroups.com)へメールにて送信する。

※写真のファイル名には背番号と氏名を入れること。

1.4 登録の追加・変更

(1) 申請方法

配布している『2019Entry_Seat(大学名)』を修正してリーグ事務局までメールにて送信する。

※追記や変更した箇所を赤色で入力して提出すること。

※同じ背番号は使用できませんので注意すること。

(2) 申請期限

第1次追加・変更登録締切：4月24日(水)⇒4月27日(土)以降の試合に出場可能

第2次追加・変更登録締切：6月26日(水)⇒6月29日(土)以降の試合に出場可能

第3次追加・変更登録締切：8月28日(水)⇒8月31日(土)以降の試合に出場可能

第4次追加・変更登録締切：9月25日(水)⇒9月28日(土)以降の試合に出場可能

第5次追加・変更登録締切：10月16日(水)⇒10月19日(土)以降の試合に出場可能

1.5 参加費について・・・28万円(10万円、10万円、8万円の3分納可)

・初回振込締切：4月10日(水)

・二回目振込締切：7月3日(水)

・三回目振込締切：8月28日(水)

〔振込先〕(※北信越大学サッカーリーグ専用の口座です。)

口座名 福井工業大学男子サッカー部 リーグ運営費用 代表者 杉浦 宏季

口座番号 福井銀行 本店営業部(店番100)普通 6139981

※振込手数料は、各チーム負担でお願いします。

※振込者には、必ず大学名を記入してください。

1.6 本大会のホームページ・・・<http://hufl.info/>

※各種帳票はダウンロードできる。

※運営責任校においては、必ずホームページの情報の誤りにないかを、確認すること。

運営担当大学(主管校)の役割

・試合までに準備する書類について(1 試合当たりの必要書類)

・マッチミーティング資料	MC・審判団(4名)、両チーム分	7部
・マッチコミッショナー報告書	1部	1部
・重要事項報告書(マッチコミッショナー用)	1部(一発退場者があった場合に使用)	1部
・審判報告書	1部	1部
・重要事項報告書(審判用)	数部(一発退場者があった場合に使用)	数部
・記録用紙	2部(A3サイズに拡大印刷、できれば両面)	1部

・試合直後の役割①(ケータイメールでの結果送信)・・・試合終了後1時間以内に送信

試合結果をリーグ事務局ケータイアドレス(下記アドレス)へ送信すること。

報告内容・・・マッチナンバー及び試合結果

(連絡先) リーグ事務局 福井工業大学 瀬上源太 (080-2627-5416 hokushinetsu-dsl@googlegroups.com)

※試合結果にかかわらず、ホームチームを左に記載すること。

・試合直後の役割②【一発退場があった場合】・・・試合当日中に必ず河村委員長へ電話にて連絡すること。

(その際、重要事項報告書を手元に置き、状況等を説明すること。)

また、重要事項報告書(マッチコミッショナー用及び審判用の2部)をPDFデータにして当日中に河村委員長までメール送信すること。(河村委員長 090-2375-6821 kawamurakazunori@gmail.com))

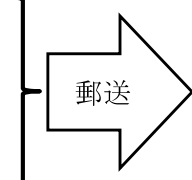
・試合後の役割③(データ入力後メール送信)・・・試合当日中に

公式記録を記録用紙のフォーマットに打ち込み、リーグ事務局へメールにて送信すること。


hokushinetsu-dsl@googlegroups.com (リーグ事務局 福井工業大学 瀬上源太宛)

・試合後の役割④(書類の郵送)・・・試合翌日までに発送

以下すべての原本を、リーグ事務局(福井工業大学)へ郵送すること。

<ul style="list-style-type: none"> ・マッチコミッショナー報告書 ・審判報告書 ・重要事項報告書 ・記録用紙(主審、MC、両チーム幹事サイン入りのもの) 		リーグ事務局 〒910-8505 福井県福井市学園 3-6-1 福井工業大学サッカー部 瀬上源太宛
---	--	--

以下のコピーを北信越サッカー協会審判委員長へ郵送すること。(一発退場があったときのみ)

<ul style="list-style-type: none"> ・審判報告書 ・重要事項報告書 		北信越サッカー協会審判委員長 武内 英郎 様 〒390-1131 長野県松本市今井 7037-7 長野県フットボールセンター内
--	---	---

その他不明な点は、リーグ事務局(福井工業大学)までご連絡ください

学生幹事 瀬上 源太 080-2627-5416 事務局長 出村 友寛 090-1958-7734

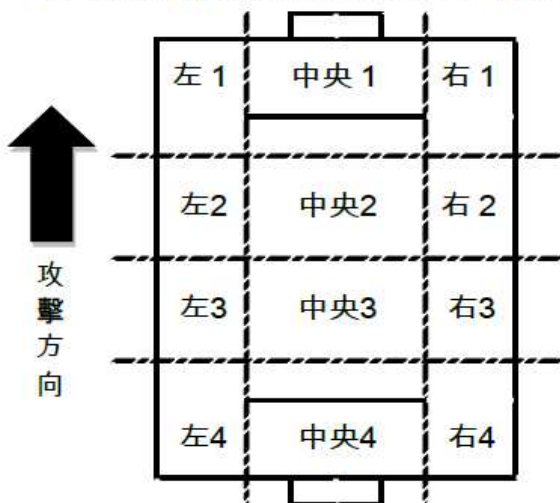
この書類には個人情報が含まれているため、取り扱いには充分ご注意ください。

公式記録用紙 得点経過欄の記入について

プレーが行われたサイドを3分割にし、攻撃チームから見て「左・中央・右」と表します。

タッチラインか方向を4分割にし、相手ゴールに近い方から「1・2・3・4」と表します。

これからの組み合わせにより、ピッチを12分割してプレーが行われた場所を表します。



用語	具体的な事項
セットプレー他	
直接FK	直接フリーキック
間接FK	間接フリーキック
PK	ペナルティキック
右CK	攻撃側から見て右サイドのコーナーキック
左CK	攻撃側から見て左サイドのコーナーキック
GK	ゴールキック
スローイン	スローイン
こぼれ球	こぼれ球
×	混戦
ポスト返り	ゴールポストに当たった跳ね返り
バー返り	クロスバーに当たった跳ね返り
プレーヤー	
(数字)	攻撃側プレーヤーの背番号
相手FP	守備側チームのフィールドプレーヤー
相手GK	守備側チームのゴールキーパー
プレー	
ワンタッチプレー	ファーストタッチでのパス・シュート・ボールを止めないプレー
2タッチ以上	ドリブルにならない複数回のボールタッチ
~	ドリブル
→	グラウンダーのパス
↑	浮き球のパス
H	ヘディング(パス)
インターセプト	インターセプト、カットプレー
スルー	スルー
クリア	守備側のプレーヤーのクリアミス
ミス	プレー上でのミス、トラップミス
右足S	右足でのシュート
左足S	左足でのシュート
HS	ヘディングシュート
S	頭・足以外の部位でのシュート
OG	守備側プレーヤーによる得点(オウンゴール)
?	不明

記録用紙への記入方法

- ・シュート
- ・ゴールキック(GK)
- ・コーナーキック(CK)
- ・直接フリーキック(直接FK)
- ・間接フリーキック(間接FK)
- ・ペナルティキック(PK)

以上のプレーについてはつぎの通り「斜線」で記入(カウント)してください。
1つ目 \ 2つ目 X 5つ目 XX \

シュートについては前後半の45分をそれぞれ15分ずつに区切ったマスに記入し、成功したシュートには斜線の頭に○を付けてください。

例)3本目のシュートが成功 X ○ \

試合終了後、各項目の合計欄に数値を記入してください

以上の斜線でのカウントは、フォーマットへのデータ入力時に、数値に直して打ち込んでください。

記録用紙下部「得点経過」欄への記入例(2つ前のプレーからを記入の基本としてください)

前半20分30秒。△△大学。左2の位置で直接FK(No.8)が浮き球のパス。それを中央1の位置でNo.4がヘディングシュート。

後半30分50秒。▲▲大学。右2の位置からNo.13がドリブルで右1に進み、浮き球のクロス。中央1でNo.11が右足シュート。

後半アディショナルタイム(46分10秒)。▲▲大学。左CKでNo.28が浮き球のクロス。中央1の位置でNo.13がヘディング。中央1へのこぼれ球の混戦から中央1の位置でNo.10が左足シュート。

得点経過	記載例	→:ゴロパス	↑:浮かせたパス	~:ドリブル	S:シュート	H:ヘディング	HS:ヘディングシュート	スコア	得点経過 (2プレー前からの場所、選手、プレー内容)
21	△△大学	4	○○	8	●●			1 - 0	左2 FK 8 ↑ 中央1 4 HS
76	▲▲大学	11	◇◇	13	◆◆			1 - 1	右2 13 ~ 右1 13 ↑ 中央1 11 右足S
90+2	▲▲大学	10	□□					1 - 2	左CK 28 ↑ 中央1 13 H 中央1 こぼれ球 X 中央1 10
								-	左足S

1段で書ききれない場合は二段にわたって記入

『どこで・誰が・何をした』の順で記入

記入例

第41回北信越大学サッカーリーグ 記録用紙 記録用紙



Match header information including 1部 前期 第1節, 試合 No. M1-13, 会場 北陸大学フットボールパーク (石川県金沢市), 日時 2013年 5月 4日 (土), キックオフ 10:01, 天候 晴れ, 風 微風, マッチコミッショナー 石川 太郎, 記録者 金沢 次郎, ピッチ 天然芝・人工芝, 表面 乾燥・水含む, 主審 能登 三郎, 副審1 加賀 四郎, 副審2 富山 五郎, 第四審 高岡 六郎

Scoreboard for 白山大学 (Home) vs 立山大学 (Away). Score: 3-2. Shootouts: 6-9 vs 3-3. Kick off: PK vs Kick off.

Main player performance table with columns for No., OUT時間, シュート数 (後半, 前半), 得点, 選手名, No., ポジション, No., 選手名, 得点, シュート数 (前半, 後半), 延前, 延後, OUT時間, No. Includes callouts for data entry and player order.

選手の並び順は、ポジション (GK→DF→MF→FW)毎の No.(背番号)の若い順で記入。

データ入力の、得点を表す『\』の頭の○は無視し、通常のシュート数として数値に直して打ち込む。

シュート数およびセットプレーのカウント(X/)は、データ入力の際、数値に直して打ち込む。

Summary table for 警告・退場 (Warnings and Ejections) with columns for 時間, 選手名, No., 理由, 延後, 延前, 後半, 前半, 合計, セットプレー, 合計, 前半, 後半, 延前, 延後, 理由, No., 選手名, 時間.

警告理由 C1:反スポーツ的行為 C2:ラフプレイ C3:異議 C4:繰り返しの反則 C5:遅延行為 C6:距離不足 C7:無許可入 C8:無許可出 退場理由 S1:著しく不正なプレイ S2:乱暴な行為 S3:つば吐き S4:得点機会阻止(手) S5:得点機会阻止(他) S6:侮辱 S7:警告2回

得点経過 (Goal Progress) table with columns for 時間, チーム名, No., 得点者, No., アシスト, No., アシスト, スコア, 得点経過 (2プレー前からの場所, 選手, プレー内容).

ダブルアシストの定義について

明確な基準がなく、記録者の判断とされておりますが、得点を直接アシストした選手(ラストパスを出した選手)のパスが時間を要さないワンタッチである場合は、アシスト者へパスを送った選手をダブルアシストとしてください。

Footer information: ホームチーム幹事署名 小松 七郎, アウェイチーム幹事署名 黒部 八郎, 主審署名 能登 三郎, マッチコミッショナー署名 石川 太郎